

洗面化粧台

ミラーキャビネットの蛍光灯が  
ちらつく・点灯しない



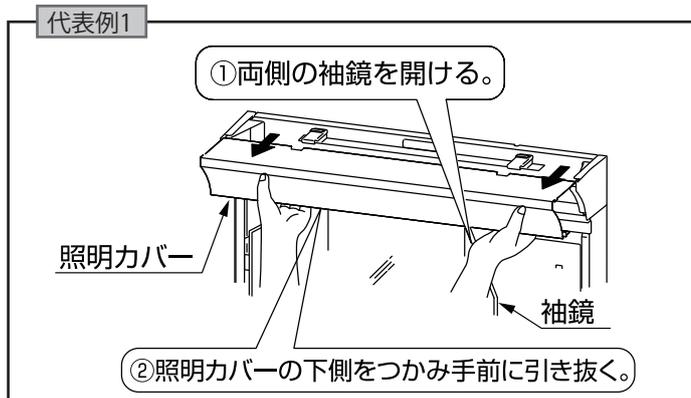
**ご注意**

- ・スイッチ、コンセント等電気製品に水をかけないでください。また濡れた手で触らないでください。感電の恐れがあります。
- ・照明交換等の作業の場合は、必ず照明スイッチを切ってから行なってください。
- ・消灯直後の照明は非常に熱くなっています。作業は照明やカバーが十分冷めてから行なってください。
- ・照明カバーは確実に取付けてください。落下してケガをする恐れがあります。

● 以下の内容は代表的製品の例です。詳しくは **取扱説明書** をご参照ください。

**1** 照明カバーの取外し (LED照明タイプの照明カバーは、取外しができません)

照明スイッチを切り、照明器具が十分にさめるのを待ちます。  
下図のように、照明カバーを取り外します。

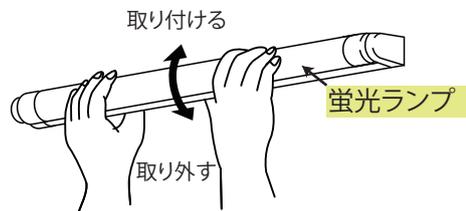


洗面化粧台

ミラーキャビネットの蛍光灯が  
ちらつく・点灯しない

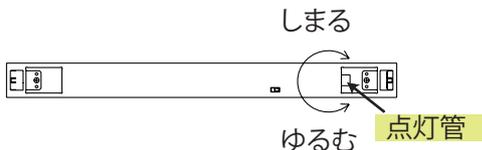
2 蛍光灯を外す

蛍光灯が十分に冷めているのを確認します。  
蛍光灯の両側を持ち、上側を手前に引くよう  
にしながら「カチッ」と音がするまでまわします。  
そのまま前に引き抜くようにして取り外します。



3 点灯管の種類確認

点灯管方式の照明器具は蛍光灯を取り外して見える開口部に点灯管がついています。  
点灯管が『グロー方式点灯管 (FG-1E)』の場合、蛍光灯の点灯までに4～5秒かかります  
ので、故障ではありません。すぐに点灯をご希望のお客様は、市販の『電子式点灯管 (FE-1E)』  
に交換されると、早く点灯します。

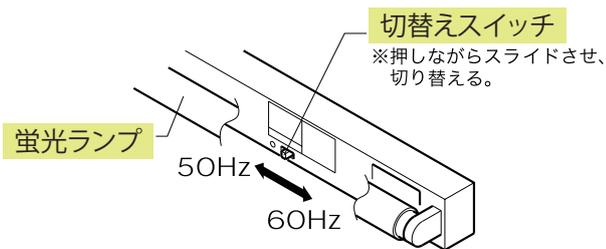
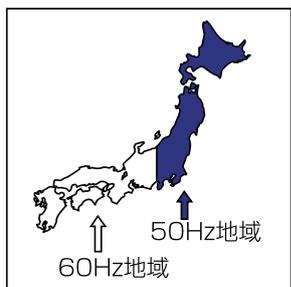


4 周波数が正しく設定されているか確認

お住まいの地域の電気周波数50/60Hzに合わせて、スイッチを切替えてください。

**製品の出荷時点では、すべて50Hzに設定されています。**

切替スイッチが適切でない場合、周波数の違いで蛍光灯の点滅をより「ちらつき」と感じら  
れる場合があります。(「◎蛍光灯・点灯管を交換したのにちらつき・・・」参照下さい。)



5 蛍光灯・点灯管の交換、正しく取付けられているかの確認

蛍光灯・点灯管の寿命が切れかけて(切れて)いる場合は、適合する直管形蛍光灯  
を交換してください。

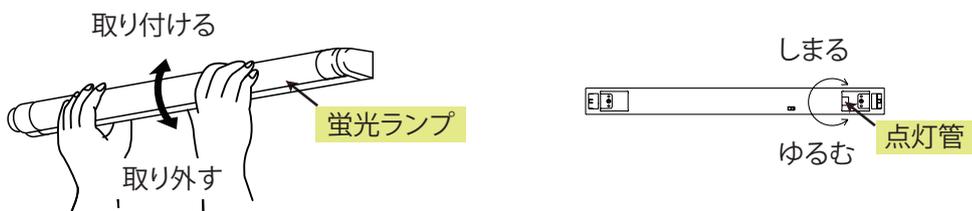
●適合する直管形蛍光灯

- ・間口750、900の場合：直管スタータ20形(昼白色) (FL20SN 580mm)
  - ・間口1000、1200の場合：直管スタータ15形(昼白色) (FL15N 580mm)
- ※昼光色・白色も取付け可能ですが、初期状態と色合いが異なります。  
※ラピッドスタータ形は使用できません。

洗面化粧台

ミラーキャビネットの蛍光灯が  
ちらつく・点灯しない

取り付け後は、蛍光灯・点灯管がソケットにしっかりとハマっているか確認して下さい。

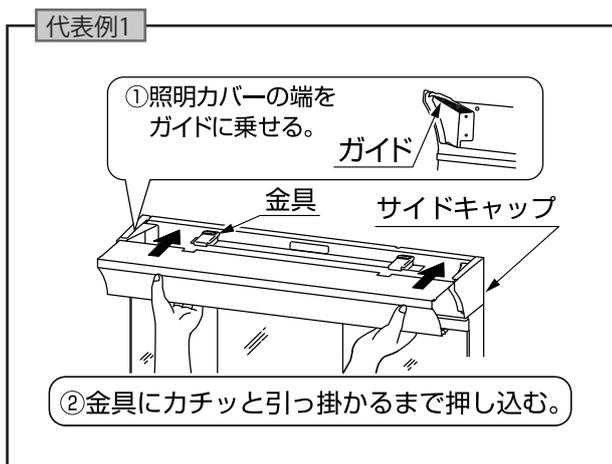


6 蛍光灯・点灯管を交換したのにちらつきが感じられるのは・・・

- ・ご家庭の電圧が下がった場合(他の電気製品の使用など)や、地域に供給される電力の電圧変動などにより、ちらつきが生じる場合があります。
- ・点灯管式蛍光灯の場合、供給される電気の50/60Hzに応じて、1秒間に点滅を100~120回繰り返しています。この点滅が見えて「ちらつき」と感じられる場合があります。これは他の照明器具との差や、個人差に影響するものです。  
→この「ちらつき」を解消するためには、インバーター式の照明器具に変更が必要です。  
インバーター式照明器具を交換される場合は、有償にてご対応させていただきます。

7 照明カバーの取付け

下図のように、照明カバーを取り付けます。



⇒上記処置をしても直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

修理のご依頼は  
LIXIL修理受付センターへ  
**TEL ☎ 0120-179-411**  
**FAX ☎ 0120-179-456**